

南入りのモデルプランを使ってゾーニングの手順とプランニングへの展開を解説してみましょう。

	<p>Step 1 敷地状況の確認 建物の配置、道路との高低差などをチェックします。</p>		<p>Step 7 立面イメージの確認 壁や生垣、門扉の高さ及び樹木の高さを決めラフなイメージ図を作成します。</p>
	<p>Step 2 ファサード要素の配置 駐車スペース、門まわり、塀の順にレイアウトします。</p>		<p>Step 8 正式な図面の作成 ラフイメージ図でプランが確定したら、それを元に正式な図面を作成します。</p>
	<p>Step 3 動線の確認 門から玄関までのメイン動線、駐車場からアプローチへの動線、室内からの動線などを描き込みます。</p>		<p>Step 9 カラーリング お客様にイメージをご理解頂けるよう着色して完成。</p>
	<p>Step 4 アプローチ、デッキ(テラス)の検討 動線に合わせてアプローチを計画。必要に応じてウッドデッキやテラスをレイアウトします。</p>		<p>Step 6 植栽計画 シンボルツリーをはじめ主要な樹木の配植、生垣の検討などを行います。</p>
	<p>Step 5 床仕上げの検討 床の仕上げを変えてアクセントを付ける部分を検討します。</p>		<p>Step 7 花壇、園路の検討 花壇スペースとその形状や、飛び石・敷石などの園路の検討を行います。</p>
	<p>Step 6 形状の修正 デッキやテラスの形を調整し、必要に応じてステップなどを組み込みます。</p>		<p>Step 8 正式な図面の作成 決定したラフイメージをもとに正式な図面を作成します。</p>

ガーデンのデザインも同じように動線と視線を意識してプランニングすることが大切です。それでは事例をもとにゾーニングの手順とプランニングへの展開を見ていきましょう。

	<p>Step 1 敷地状況の確認 ガーデンスペース、周辺環境、隣当たり等をチェックします。</p>		<p>Step 6 花壇、園路の検討 花壇スペースとその形状や、飛び石・敷石などの園路の検討を行います。</p>
	<p>Step 2 視覚的ポイントの検討 室内からの眺めを意識してフォーカルポイント、アイストップなどの添景物の位置をおさえます。</p>		<p>Step 7 配植計画 主な庭木の位置を全体のバランスを見ながら検討します。</p>
	<p>Step 3 動線の確認 庭を通り抜ける動線や室内から庭へ出る動線を描き込みます。</p>		<p>Step 8 正式な図面の作成 決定したラフイメージをもとに正式な図面を作成します。</p>
	<p>Step 4 床材のレイアウト ウッドデッキやテラスのレイアウトを検討します。特にウッドデッキは動線の邪魔にならないよう、必要に応じて変形させる事も大切です。</p>		<p>Step 9 カラーリング お客様にイメージをご理解頂けるよう着色して完成。</p>
	<p>Step 5 形状の修正 デッキやテラスの形を調整し、必要に応じてステップなどを組み込みます。</p>		<p>Step 7 配植計画 主な庭木の位置を全体のバランスを見ながら検討します。</p>

次回は門まわりのデザインテクニックについて解説します。お楽しみに。